

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年01月14日

計画の名称	山陰海岸ジオパーク圏域3府県周遊観光活性化計画（重点）													
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	兵庫県													
計画の目標	鳥取県・兵庫県・京都府の3府県の日本海沿岸部をエリアとする、世界ジオパークネットワークに加盟の“山陰海岸ジオパーク”圏域では、地質遺産をはじめとした多様な地域資源を保全し、教育・観光・地域産業に活用することで、地域活性化を図る活動が行われている。これらの活動に合わせ、拠点施設間のアクセス強化や拠点施設周辺の整備を推進し、広く圏域外からの来訪者の増加を図ることにより、広域的な地域活性化を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		4,248	A	4,248	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H26～H28平均値)	(H32)	(H34)
1	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】 観光入込客数273万人（H26～H28平均値）から286万人（H34）に増加 （13万人（5％）の増加）			
	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】 山陰海岸ジオパークエリアにある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合)＝(評価時点の観光入込客数－H26～28年度の年間観光入込客数の平均値)／(H26～28年度の年間観光入込客数の平均値)	273万人	281万人	286万人
2	【兵庫県 単独目標】 観光入込客数156万人（H26～H28平均値）から163万人（H34）に増加 （7万人（5％）の増加）			
	【兵庫県 単独目標】 兵庫県内の山陰海岸ジオパークエリアにある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合)＝(評価時点の観光入込客数－H26～28年度の年間観光入込客数の平均値)／(H26～28年度の年間観光入込客数の平均値)	156万人	160万人	163万人
3	【兵庫県 重点目標】 観光入込客数131万人（H26～H28平均値）から137万人（H32）に増加 （6万人（5％）の増加）			
	【兵庫県 重点計画目標】 豊岡市 豊岡・城崎地区内にある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合)＝(評価時点の観光入込客数－H26～H28の年間観光入込客数の平均値)／(H26～H28の年間観光入込客数の平均値)	131万人	135万人	137万人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
○全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、0%となる。○その他事項については、備考-1に記載。												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-001	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	（一）戸島玄武洞豊岡線 赤石工区	現道拡幅 L=0.6km	豊岡市	■	■	■	■		650		－	
	A11-002	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	国道	改築	（国）312号 下宮工区	現道拡幅 L=0.2km	豊岡市	■	■	■	■	■	400		－	
	A11-003	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	（主）豊岡瀬戸線 湯島 工区	現道拡幅 L=0.4km	豊岡市	■	■	■	■	■	1,231		－	
	A11-004	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	（主）豊岡竹野線 今津 （右岸）工区	バイパス L=0.8km	豊岡市	■	■	■	■	■	1,602		－	
	A11-005	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	（一）戸島玄武洞豊岡線 赤石2工区	無電柱化 L=0.4km	豊岡市	■	■	■	■	■	365		－	
												小計						4,248		
										合計						4,248				

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本整備計画の連携先である鳥取県、京都府と本整備計画作成主体である本県道路主管課において相互に調整を行い、評価を実施する。	令和6年12月
	公表の方法
	インターネット（兵庫県HP）での公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	観光入込客数について、新型コロナウイルスの影響もあり、目標達成には至らなかったものの、基幹事業の整備により、拠点施設へのアクセス時間が短縮され、一定の効果発現があったと推察される。 【交付対象事業の効果の発現状況】 A11-001、A11-005：県道楽々浦玄武洞豊岡線の現道拡幅により、城崎温泉から玄武洞ミュージアムまでのアクセス時間が短縮（整備前：9分、整備後：7分）(R5)事業延長L=600m 完成供用L=600m A11-002：国道312号下宮工区の現道拡幅により、玄武洞ミュージアムからコウノトリの郷公園までのアクセス時間が短縮（整備前：15分、整備後：12分）(R5)事業延長L=170m 完成供用L=170m
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

未完了の事業については、本計画完了後も引き続き、本社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を推進する。

未完了事業：A11-003、A11-004

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】		
	最 終 目標値	286万人	目標値に対して、65万人（23％）の減少となった。要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により人流が抑制されたことが考えられるものの、基幹事業により拠点施設へのアクセス時間が短縮され一定の効果発現が認められる。【鳥取県・兵庫県・京都府】R5実績値：221万人 出典：「令和5年度兵庫県観光客動態調査報告書」他
	最 終 実績値	221万人	
2	【兵庫県 単独目標】		
	最 終 目標値	163万人	目標値に対して、49万人（30％）の減少となった。要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により人流が抑制されたことが考えられるものの、基幹事業により拠点施設へのアクセス時間が短縮され一定の効果発現が認められる。【兵庫県】R5実績値：114万人 出典：「令和5年度兵庫県観光客動態調査報告書」
	最 終 実績値	114万人	
3	【兵庫県 重点目標】		
	最 終 目標値	137万人	目標値に対して、32万人（23％）の減少となった。要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により人流が抑制されたことが考えられるものの、基幹事業により拠点施設へのアクセス時間が短縮され一定の効果発現が認められる。【兵庫県】R5実績値：105万人 出典：「令和5年度兵庫県観光客動態調査報告書」
	最 終 実績値	105万人	

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年01月14日

計画の名称	山陰海岸ジオパーク圏域3府県周遊観光活性化計画													
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	兵庫県													
計画の目標	鳥取県・兵庫県・京都府の3府県の日本海沿岸部をエリアとする、世界ジオパークネットワークに加盟の“山陰海岸ジオパーク”圏域では、地質遺産をはじめとした多様な地域資源を保全し、教育・観光・地域産業に活用することで、地域活性化を図る活動が行われている。これらの活動に合わせ、拠点施設間のアクセス強化や拠点施設周辺の整備を推進し、広く圏域外からの来訪者の増加を図ることにより、広域的な地域活性化を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		3,300	A	3,300	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H26～H28平均値)	(H32)	(H34)
1	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】 観光入込客数273万人（H26～H28平均値）から286万人（H34）に増加（13万人（5%）の増加）			
	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】 山陰海岸ジオパークエリアにある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合)＝(評価時点の観光入込客数－H26～28年度の年間観光入込客数の平均値)／(H26～28年度の年間観光入込客数の平均値)	273万人	281万人	286万人
2	【兵庫県 単独目標】 観光入込客数156万人（H26～H28平均値）から163万人（H34）に増加（7万人（5%）の増加）			
	【兵庫県 単独目標】 兵庫県内の山陰海岸ジオパークエリアにある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合)＝(評価時点の観光入込客数－H26～28年度の年間観光入込客数の平均値)／(H26～28年度の年間観光入込客数の平均値)	156万人	160万人	163万人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
○全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、0%となる。○その他事項については、備考-1に記載。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-001	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	国道	改築	（国）482号 片間工区	現道拡幅 L=1.0km	豊岡市	■	■	■	■		600		－
	A11-002	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	（主）日高竹野線 轟工 区	現道拡幅 L=0.3km	豊岡市	■	■	■			550		－
	A11-003	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	（主）香住村岡線 境工 区	現道拡幅 L=0.8km	香美町	■	■	■			950		－
	A11-004	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	（一）茅野福岡線 大谷 バイパス	バイパス L=1.7km	香美町	■	■	■	■	■	600		－
	A11-005	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	（一）福岡出合線 葛畑 工区	現道拡幅 L=0.1km	養父市	■	■				150		－
	A11-006	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	（主）関宮小代線 吉井 工区	バイパス L=2.1km	養父市	■	■	■	■	■	450		－
										小計						3,300			

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											合計						3,300			

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本整備計画の連携先である鳥取県、京都府と本整備計画作成主体である本県道路主管課において相互に調整を行い、評価を実施する。	令和6年12月
	公表の方法
	インターネット（兵庫県HP）での公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	観光入込客数について、新型コロナウイルスの影響もあり、目標達成には至らなかったものの、基幹事業の整備により、拠点施設へのアクセス時間が短縮され、一定の効果発現があったと推察される。 【交付対象事業の効果の発現状況】 A11-003：県道香住村岡線の現道拡幅により、ハチ北スキー場からジオパークと海の文化館までのアクセス時間が短縮（整備前：58分、整備後：57分）(R3)事業延長L=800m 完成供用L=800m A11-005、A11-006：県道福岡出合線の現道拡幅、県道関宮小代線のバイパス整備により、八鹿氷ノ山ICからハチ北スキー場までのアクセス時間が短縮（整備前：36分、整備後：34分）(県道福岡出合線:R1)事業延長L=130m 完成供用L=130m （県道関宮小代線:R3)事業延長L=2,100m 完成供用L=2,100m
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

未完成の事業については、本計画完了後も引き続き、本社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を推進する。
未完成事業：A11-001、A11-002、A11-004

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】		
	最 終 目標値	286万人	目標値に対して、65万人（23％）の減少となった。要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により人流が抑制されたことが考えられるものの、基幹事業により拠点施設へのアクセス時間が短縮され一定の効果発現が認められる。【鳥取県・兵庫県・京都府】R5実績値：221万人 出典：「令和5年度兵庫県観光客動態調査報告書」他
	最 終 実績値	221万人	
2	【兵庫県 単独目標】		
	最 終 目標値	163万人	目標値に対して、49万人（30％）の減少となった。要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により人流が抑制されたことが考えられるものの、基幹事業により拠点施設へのアクセス時間が短縮され一定の効果発現が認められる。【兵庫県】R5実績値：114万人 出典：「令和5年度兵庫県観光客動態調査報告書」
	最 終 実績値	114万人	